診断書(精神障害者保健福祉手帳用)

氏名 年月日生(歳) 住所 (1) 集たる精神障害 100コード() 対応するF00~F99、640のL) (2) 従たる精神障害 100コード() 対応するF00~F99、640のL) (3) 身体合併症 3) 身体合併症 身体障害者手帳(有・無、種別 2) が節年月日 またる精神障害の初診年月日 昭和・平成・令和 年月日 診断書作成医療機関の初診年月日 昭和・平成・令和 年月日 2条 発素中見、発病状況) 発症状、治療の経過、治療内容などを記載する) (推定発病時期 年月頃) 定発素年月、発病状況) 発症状、治療の経過、治療内容などを記載する) (推定発病時期 年月頃) 2 無状態 1 思考・運動即制 2 易刺激性、興奮 3 至うつ気分 4 その他() (2) 無状態 1 見考・運動即制 2 易刺激性、興奮 3 至うつ気分 4 その他() (3) 幻覚妄想状態 1 別考・運動即制 2 易刺激性、具瘤 3 至うつ気分 4 その他() (4) 精神運動興奮及び香港の状態 1 見常・運動即制 2 易刺激性 4 その他() (5) 統合失調症等提過状態 1 同層 2 影情平板化 3 意欲の減退 4 その他() (6) 情勤及び行動の障害 1 国際性 2 暴力・衝動行為 3 多動 4 食行動の異常 5 チック・汚言 6 その他() (7) 不安及び不掲 1 爆疫の不安・恐怖感 2 強迫体験 3 心的外傷に関連する症状 4 解離・転換症状 5 その他() (6) 情勤及び行動の障害 1 国際性 2 裏力・衝動行為 3 多動 4 食行動の異常 5 チック・汚言 6 その他() (7) 不安及び不掲 1 環境で不安・恐怖感 2 強迫体験 3 心的外傷に関連する症状 4 解離・転換症状 5 その他() (9) 報神作用物質の出用及び核存等 1 アルコール 2 覚醒剤 3 者を維持剤 4 その他() 可能・記憶・学管・注意の障害 1 アルコール 2 覚醒剤 3 者を総計剤 4 その他() 現在の精神作用物質の使用 有・無 (不使用の場合、その期間 年月から) 1 知的障害 (精神悪滞) ア 軽度 4 中等度 ウ 重度 療育手帳(有・無、等級等) 2 認知症 3 その他の記憶障害 () 可能 3 その他の記憶障害 () 2 認知症 3 その他の記憶障害 () 2 認知 3 その他の記憶障害 () 2 認知 3 その他の記憶障害 () 2 認知 3 をの他の記憶障害 () 2 認知 3 をの他の記憶障害 () 2 認知 3 をの他の記憶障害 () 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			明治・大正・昭和・平成・令和				
(1) 病名	氏 名		年	月 日生	E (裁)	
ICDコードは、右の病名と	住所		L				
(2) 初診年月日 またる精神障害の初診年月日 昭和・平成・令和 年 月 日 診断書作成医療機関の初診年月日 昭和・平成・令和 年 月 日 2 続き焼く、治療の経過、治療内容などを記載する) ** 器質性精神障害(認知症を除く)の場合、発症の原因となった疾患名とその発症日 (疾患名 年 月 1 1 2 表 2 数 3 数 4 を 7 数 4 その他 () 2 数 4 その他 () 2 数 3 数 6 高揚・易刺激性 4 その他 () 3 対策・型状態 1 別党 2 変想 3 その他 () 4 精神運動興奮及び昏迷の状態 1 別党 2 変想 3 その他 () 4 精神運動興奮及び昏迷の状態 1 同盟 2 修備平板化 3 意欲の減退 4 その他 () () 統合失調症等残遺状態 1 自閉 2 悠情平板化 3 意欲の減退 4 その他 () () () () () () () () () (ICDコードは、右の病名と	=		ICD⊐−ド()		
(2) 初診年月日		(2) 従たる精神障害		ICDコード()		
主たる精神障害の初診年月日 昭和・平成・令和 年 月 日 診断書作成医療機関の初診年月日 昭和・平成・令和 年 月 日 ② 発病から現在までの病歴 投送療の経過、内容 (推定発病時期 年 月頃) 保証・治療の経過、治療内容などを記載する) 本器質性精神障害(認知症を除く)の場合、発症の原因となった疾患名とその発症日 (疾患名 ** と を	すれかを記載) 	(3) 身体合併症	_ 身体障害者	手帳(有・無、	、種別	級)	
3 発病から現在までの病歴 及び治療の経過、内容 (権定発病時期 年 月頃) を発病年月、発病状況、初 発症状、治療の経過、治療 内容などを記載する) ** 器質性精神障害(認知症を除く)の場合、発症の原因となった疾患名とその発症日 (疾患名 **	② 初診年月日	主たる精神障害の初診年月日 昭和・コ	平成・令和	年 月	日		
及び治療の経過、内容(推定発病時期 年 月頃) 発症状、治療の経過、治療内容などを記載する) *器質性精神障害(認知症を除く)の場合、発症の原因となった疾患名とその発症日疾患名 *器質性精神障害(認知症を除く)の場合、発症の原因となった疾患名とその発症日疾患名 (疾患名 第 3 憂うつ気分 4 その他() 1 知うつ状態 1 思考・運動抑制 2 易刺激性、興奮 3 憂うつ気分 4 その他() 2 躁状態 1 行為心迫 2 多弁 3 感情高揚・易刺激性 4 その他() 3 幻覚妄想状態 1 知覚 2 妄想 3 その他() 4 特神運動興奮及び昏迷の状態 1 興奮 2 昏迷 3 拒絶 4 その他() () 統合失調症等残遺状態 1 開発性 2 暴力・衝動行為 3 多動 4 食行動の異常 5 チック・汚言 6 その他() () 情動及び行動の障害 1 爆発性 2 暴力・衝動行為 3 多動 4 食行動の異常 5 チック・汚言 6 その他() () でんかん発作等(けいれんおよび意識障害) 1 てんかん発作等(けいれんおよび意識障害) 1 不の他() 損害作用物質の乱用及び依存等 1 アルコール 2 覚醒剤 3 有機溶剤 4 その他() 現在の精神作用物質の使用 有・無(不使用の場合、その期間 年 月から) (1) 知能・記憶・学習・注意の障害 1 知的障害 (精神遅滞) ア 軽度 イ 中等度 ウ重度 療育手帳(有・無、等級等) 2 認知症 3 その他の記憶障害 () 2 認知症 3 その他の記憶障害 () 2 に対しないのはに関する 4 年 1 から) (1) 知能・記憶・学習・注意の障害 4 年 1 から) (1) 知能・記憶・学習・注意の障害 4 年 1 から) (1) 知能・記憶・学習・注意の障害 3 その他の記憶障害 () 2 認知症 3 その他の記憶障害 () 2 に対しないのはに関する 4 年 1 から) (1) 知能・記憶・学習・注意の障害 3 その他の記憶障害 () 2 に対しないのはに関する 4 年 1 から) (1) 知能・記憶・学習・注意の障害 3 その他 () 3 を持力がより 4 年 1 から) (1) 知能などを表している 4 年 1 から) (1) 知能などを表しないる 4 年 1 から) (1) 知能などを表しなどを表しないる 4 年 1 から) (1) 知能などを表しないる 4 年 1 から) (1) 和能などを表しないる 4 年 1 から) (1) 知能などを表しないる 4 年 1 から) (1) 和能などを表しないる 4 年 1 から) (1) 和能などを表しないる 4 年 1 から) (1) 知能などを表しないる 4 年 1 から) (1) 和能などを表しないる 4 年 1 から) (1) 和能などを含まされる 4 年 1 から) (1) 和能などを表しないる 4 年 1 から) (1) 和能などを含まる 4 年 1 から) (1) 和能などを含まる 4 年 1 か		診断書作成医療機関の初診年月日 昭和・ュ	平成・令和	年 月	日		
(疾患名 、 年 月 ④ 現在の病状、状態像等(該当する項目をOで囲む) (1) 抑うつ状態 1 思考・運動抑制 2 易刺激性、興奮 3 憂うつ気分 4 その他() (2) 躁状態 1 行為心迫 2 多弁 3 感情高揚・易刺激性 4 その他() (3) 幻覚妄想状態 1 幻覚 2 妄想 3 その他() (4) 精神運動興奮及び昏迷の状態 1 興奮 2 昏迷 3 拒絶 4 その他() (5) 統合失調症等残遺状態 1 自閉 2 感情平板化 3 意欲の滅退 4 その他() (6) 情動及び行動の障害 1 爆発性 2 暴力・衝動行為 3 多動 4 食行動の異常 5 チック・汚言 6 その他((7) 不安及び不穏 1 強度の不安・恐怖感 2 強迫体験 3 心的外傷に関連する症状 4 解離・転換症状 5 その他() (8) てんかん発作等(けいれんおよび意識障害) 1 てんかん発作等(けいれんおよび意識障害) 1 てんかん発作等(けいれんおよび意識障害) 1 アルコール 2 覚醒剤 3 有機溶剤 4 その他() (9) 精神作用物質の乱用及び依存等 1 アルコール 2 覚醒剤 3 有機溶剤 4 その他() ア 乱用 イ 依存 ウ 残遺性・遅発性精神病性障害(状態像を該当項目に再掲すること)エ その他() 現在の精神作用物質の使用 有・無 (不使用の場合、その期間 年 月 から) (10) 知能・記憶・学習・注意の障害 1 知的障害(精神遅滞) ア 軽度 イ 中等度 ウ 重度 療育手帳(有・無、等級等) 2 認知症 3 その他の記憶障害 (及び治療の経過、内容(定発病年月、発病状況、 発症状、治療の経過、治療	推 (推定発病時期 年 月頃) 切					
(1) 抑うつ状態 1 思考・運動抑制 2 易刺激性、興奮 3 憂うつ気分 4 その他() (2) 躁状態 1 行為心迫 2 多弁 3 感情高揚・易刺激性 4 その他() (3) 幻覚妄想状態 1 幻覚 2 妄想 3 その他() (4) 精神運動興奮及び昏迷の状態 1 興奮 2 昏迷 3 拒絶 4 その他() (5) 統合失調症等残遺状態 1 自閉 2 感情平板化 3 意欲の減退 4 その他() (6) 情動及び行動の障害 1 爆発性 2 暴力・衝動行為 3 多動 4 食行動の異常 5 チック・汚言 6 その他((7) 不安及び不穏 1 強度の不安・恐怖感 2 強迫体験 3 心的外傷に関連する症状 4 解離・転換症状 5 その他() (8) てんかん発作等(けいれんおよび意識障害) 1 てんかん発作等(けいれんおよび意識障害) 1 てんかん発作等(けいれんおよび意識障害) 1 アルコール 2 覚醒剤 3 有機溶剤 4 その他() (9) 精神作用物質の乱用及び依存等 1 アルコール 2 覚醒剤 3 有機溶剤 4 その他() ア 乱用 イ 依存 ウ 残遺性・遅発性精神病性障害(状態像を該当項目に再掲すること) エ その他() 現在の精神作用物質の使用 有・無(不使用の場合、その期間 年 月 から) (10) 知能・記憶・学習・注意の障害 1 知的障害(精神遅滞) ア 軽度 イ 中等度 ウ 重度 療育手帳(有・無、等級等) 2 認知症 3 その他の記憶障害 ()			発症の原因となった 、			日)	
4 学習の困難 ア 読み イ 書き ウ 算数 エ その他 () 5 遂行機能障害 6 注意障害 7 その他 () (11) 広汎性発達障害関連症状 1 相互的な社会関係の質的障害 2 コミュニケーションのパターンにおける質的障害	1 思考・運動抑制 (2) 選動抑制 (2) 選別	中 3 感情高揚・易刺激性 4 その他(3 その他() 迷の状態 3 拒絶 4 その他() 談 版化 3 意欲の減退 4 その他(・衝動行為 3 多動 4 食行動の異常 ・ 2 強迫体験 3 心的外傷に関連するが いれんおよび意識障害) 作型() 頻度(その他 () なび依存等 覚醒剤 3 有機溶剤 4 その他(ひび依存等 覚醒剤 3 有機溶剤 4 その他(ひび依存等 に対しているが、	う 5 チック・汚っ こ 4 解離・ 当項目に 再月・無 育手帳(有・無、 条育手帳	転換症状 年 月 こと)) ・ ・) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・) ・ ・) ・) ・) ・) ・) ・) ・) ・) ・) ・) ・) ・)) ・) ・)) ・) ・)))) ・)) ・))))) と))))	目))	

⑤ ④の病状・状態像等の具体的程度、症状、検査所見 等				
[検査所見:検査名、検査結果、検査時期)
⑥ 生活能力の状態 (保護的環境ではない場合を想定して判断する。児童では年齢相応	 の能力と比較(の上で判	断する)	
1 現在の生活環境	・その他()	
(1)適切な食事摂取 自発的にできる・・ 自発的にできるが援助が必要・・ 援助があればできる (2)身辺の清潔保持、規則正しい生活	・できなり	l1		
自発的にできる・・ 自発的にできるが援助が必要・ 援助があればできる (3) 金銭管理と買物	・できなり	い		
適切にできる ・ おおむねできるが援助が必要 ・ 援助があればできる	・できない			
(4)通院と服薬(要・不要) 適切にできる ・ おおむねできるが援助が必要 ・ 援助があればできる	・できない			
(5)他人との意思伝達・対人関係 適切にできる ・ おおむねできるが援助が必要 ・ 援助があればできる	・できない			
(6)身辺の安全保持・危機対応、 適切にできる ・ おおむねできるが援助が必要 ・ 援助があればできる	・できない			
(7) 社会的手続や公共施設の利用 適切にできる ・ おおむねできるが援助が必要 ・ 援助があればできる	・できない			
(8)趣味・娯楽への関心、文化的社会的活動への参加 適切にできる ・ おおむねできるが援助が必要 ・ 援助があればできる	・できない			
3 日常生活能力の程度 (該当する番号を選んで、どれか一つをOで囲む)	22.00			
(1) 精神障害を認めるが、日常生活及び社会生活は普通にできる。(2) 精神障害を認め、日常生活又は社会生活に一定の制限を受ける。(3) 精神障害を認め、日常生活に著しい制限を受けており、時に応じて援助を必要とする。(4) 精神障害を認め、日常生活に著しい制限を受けており、常時援助を必要とする。(5) 精神障害を認め、身の回りのことはほとんどできない。	する。			
⑦ ⑥の具体的程度、状態等				
⑧ 現在の障害福祉等のサービスの利用状況 (障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成17年法律第123号 同生活援助(グループホーム)、居宅介護(ホームヘルプ)、その他の障害福祉サービス				
⑨ 備考 医師の略歴 (精神保健指定医である等3年以上精神医療に従事した経験を有する	ることがわかる	ように記	記載するこ	<u>こと。)</u>
上記のとおり、診断します。	令和	年	月	日
医療機関の名称				
医療機関所在地				
電話番号				
診療担当科名 医師氏名				
区 即以有				